

令和5年度の派遣実績(詳細版)

団体名	峰山地区コミュニティ協議会やなぎやま村	
団体のこれまでの 景観への取り組み	柳山アグリランドにおいて、四季を通じて花々木々を植栽しており、ハイキングロード、山頂等の整備を行っている。 令和4年度に活用した景観アドバイザーの助言を受け、四季を通じた花木の選定、イベント周知、神話等歴史学習などを実施している。	
派遣内容	回数	1回目
	会議名	やなぎやま意見交換会
	派遣日	令和5年8月24日(木)10:00~12:00
	開催場所	柳山アグリランド(薩摩川内市)
	参加者	団体16名
	派遣講師	廣森 徹 (専門分野:自然)
	団体からの依頼事項	<ul style="list-style-type: none"> ・桜や菜の花、コスモスなどのメインの花の他に、さらに魅力溢れる公園にするために適した植生物はないか。 ・山から発信する「まちづくり」を行ううえで、インパクトがありつつ高齢のメンバーでも継続できる仕組みはないか。
	アドバイザーからの助言内容	<ul style="list-style-type: none"> ・制度・補助金等の活用について ・四季を通じた花木選定について ・利用者のニーズや利用状況に応じた、休憩所、展望所の設置について ・地域住民、ボランティア、NPO等の協働による管理・運営について 等の助言
助言の活用による成果と今後の取組	<p>【活用後の成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・行政の補助金について確認を実施。 ・休憩所や展望所を増設した。 <p>【今後の取組み】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自然公園という雰囲気づくりを行う。 ・地域との協働型運営、連携を行っていく。持続可能な団体の組織づくり。地域おこし協力隊などの若い力の発掘。 ・山頂の安全対策整備、キャンプ場の整備を行う。 	

令和5年度の派遣実績(詳細版)

団体名	入来花水木会		
団体のこれまでの 景観への取り組み	入来麓武家屋敷群の美化清掃活動に取り組んでいる。 ※第3回あなたが選ぶかごしま景観大賞の優秀賞を受賞		
派遣内容	回数	1回目	2回目
	会議名	入来麓の景観まちづくり	入来麓の景観まちづくり
	派遣日	令和5年7月23日(日)13:30~15:30	令和6年1月21日(日)13:30~15:30
	開催場所	入来麓武家屋敷郡内 居宅(薩摩川内市)	入来文化ホール別館(薩摩川内市)
	参加者	団体8名, 大学関係者2名, 他団体1名	団体10名, 大学関係者6名, 他団体8名
	派遣講師	西嶋 啓一郎(専門分野:建築)	鯉坂 徹(専門分野:建築, 歴史まちづくり)
	団体からの依頼事項	入来麓地区の住民が, 伝統的建造物群保存地区で暮らしているという意識を向上してもらうために, どのような取り組みを行えばよいか。	入来麓地区の住民が, 伝統的建造物群保存地区で暮らしているという意識を向上してもらうために, どのような取り組みを行えばよいか。
	アドバイザーからの助言内容	重要伝統的造物群保存地区の事例紹介を通じた, 空き家の増加などの課題及び対策についての助言。	麓の歴史や特徴, 伝統的建造物群保存地区における事業と助成制度の事例紹介などを通じた, 入来麓地区における保全と活用の提言についての助言。
助言の活用による成果と今後の取組	<p>【活用後の成果】 歴史的建造物の学術的記録の蓄積と, それらを活用した景観のPRが有効であることを理解した。</p> <p>【今後の取り組み】 地域と産学との連携をはかり, 入来施の景観を次世代に伝承していくために, 歴史的建造物の学術的記録の蓄積, 価値を伝える冊子や物の販売によってより多くの人に入来麓を知ってもらうための活動を目指したい。</p>	<p>【活用後の成果】 「これからの入来麓における保全と活用」の在り方について具体的なアイデアを得ることができた。</p> <p>【今後の取り組み】 「歩いて楽しいまち」にすることが重要である, 郷土館の整備拡充を行うなどのアドバイザー助言を今後参考にしていきたい。</p>	

令和5年度の派遣実績(詳細版)

団体名	NPO法人臨本海岸ウミガメ・シロチドリ会			
団体のこれまでの 景観への取り組み	臨本海岸の景観に関する問題についての阿久根市と協議を行っている。臨本海岸周辺の松林の再生、海岸清掃、史跡の発掘など、周辺景観の維持に努めている。 ※第3回あなたが選ぶかごしま景観大賞の大賞を受賞			
派遣内容	回数	1回目	2回目	3回目
	会議名	海岸防風林における松林の景観形成の進め方	歴史風紀の景観形成の進め方	阿久根市景観計画・自然及び歴史景観の保護と景観の工程表とポイント
	派遣日	令和5年11月9日(木)9:10~11:10	令和5年12月11日(月)10:00~12:00	令和6年2月17日(土)13:30~15:30
	開催場所	阿久根市三笠支所、臨本公民館2階会議室(阿久根市)	里山清流亭(阿久根市)	西目地区構造改善センター(阿久根市)
	参加者	団体11名、市職員6名、その他関係者15名	団体10名、市職員7名、その他関係者8名	団体9名、市職員6名、その他関係者3名
	派遣講師	日高 一富(専門分野:自然・緑化)	東川 隆太郎(専門分野:地域づくり)	石田尾 博夫(専門分野:地域づくり)
	団体からの依頼事項	臨本海岸周辺の海岸防風林である松林の景観形成の進め方について助言を得たい。	臨本海岸周辺にある18カ所の史跡等の活用について助言を得たい。	景観条例・景観計画策定に向けて、団体で作成した計画案について確認していただき、助言を得たい。
	アドバイザーからの助言内容	臨本海岸全体の松の景観を一度に良くすることは難しいので、エリアを定めてそこから景観作りを行うこと、海岸の後背地を利用した事業展開などを行うなどを助言。	地元の活動が景観保護や観光交流に繋がっている事例を紹介し、その共通点をもとに、継続できる仕組みづくりや拠点づくり、目標の共有、第三者の検証などが必要なことを助言。	景観計画案を確認。臨本を中心とした計画案となっており、今後の市全体におけるコンセプトづくりについては、民間と行政の共同作業が必要になってくることを助言。
	助言の活用による成果と今後の取組	<p>【活用後の成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> 令和4年に発足した白砂青松の会の活動方針に助言を反映させ、海岸防風林の景観作りを組織的に行うようになった。 団体の要請により、枯松の伐採や防虫の薬剤散布などを市に行ってもらえるようになったので、継続してもらえるよう仕組みとして作りあげることが望ましい。 <p>【今後の取組み】</p> <p>地域は景観の保護・創出に強い関心と高い意識を持ち始めて、行動に移している。海岸を利用する事業者とも協議し、景観形成の協業も始めている。SNSやマスメディアを通じて民間の景観保護活動の情報発信を行っているが、今後は世界に向けて発信していきたい。また、景観条例等を制定することなどにより、景観を守り、活用する仕組みを行政がつくり、施策の実行をNPO法人や民間のボランティアが行っていくことを目指したい。</p>	<p>【活用後の成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> 臨本海岸沿いに新たな史跡を数カ所見出し、元々作成していた史跡パンフレットに情報を追加して、NPO会報などで積極的にアピールした。 海岸の浅瀬に沈む戦闘機の場所を、団体で特定し、地域の老人学級の勉強会で紹介した。 	<p>【活用後の成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> 市に対して阿久根市景観計画(案)を提出している状況。 臨本海岸以外の地区の区長の協力を得て、景観地域を独自に指定して調査を行った。

令和5年度の派遣実績(詳細版)

団体名	長島新風塾		
団体のこれまでの 景観への取り組み	魅力ある景観づくりのため、地域の住民や景観団体と年間を通して花壇に花を植栽して、景観形成を推進している。		
派遣内容	回数	1回目	2回目
	会議名	景観アドバイザーと語る会	景観アドバイザーと語る会
	派遣日	令和5年8月5日(土)18:30~20:30	令和6年2月9日(金)18:00~20:00
	開催場所	文化ホール(長島町)※平尾、蔵之元を巡回	開発センター(長島町)
	参加者	団体15名, 地域住民5名	35名(団体, 地域住民)
	派遣講師	東川 隆太郎(専門分野:地域づくり)	東川 隆太郎(専門分野:地域づくり)
	団体からの依頼事項	地域のポテンシャルを外から見た考え方や、発想のアドバイスを受けて、イベントや地域づくりの活性化につなげたい。景観を一つの魅力として発信するため、景観アドバイザーの話聴き、次の展開へと繋げたい。	地域のポテンシャルを外から見た考え方や、発想のアドバイスを受けて、イベントや地域づくりの活性化につなげたい。景観を一つの魅力として発信するため、景観アドバイザーの話聴き、次の展開へと繋げたい。
	アドバイザーからの助言内容	長島町には、古墳時代から歴史や史跡が多くあり、長島町の平尾、蔵之元の一部をまち歩きして、文化や歴史、時代背景などについて現地説明を行った。	黒之瀬戸海峡や、かつて船番所であった三船港について、長島町の歴史と万葉集の歌との関係性を説明。
助言の活用による成果と今後の取組	<p>【活用後の成果】 長島町の何気ない風景、景観に対して、歴史的価値や離島である故の文化など、他にない魅力を学ぶことができ、大変参考になった。</p> <p>【今後の取組】 町に残った歴史や文化、景観を守り、後世に繋げる活動が大事だと感じた。今後は、ふるさとの踊りや言い伝えを守る活動も行いたい。</p>	<p>【活用後の成果】 長島町が、石川丈夫の歌に登場し、7世紀から8世紀頃に知られていた史実に感動を覚える。歴史的にも重要な島だったことを知った。</p> <p>【今後の取組】 景観と歴史を組み合わせた保全を推進し、観光に活かしていきたい。</p>	

令和5年度の派遣実績(詳細版)

団体名	指宿市(都市・海岸整備課)	
団体のこれまでの 景観への取り組み	指宿市景観条例の制定	
派遣内容	回数	1回目
	会議名	指宿港湾海岸保全推進協議会ワークショップ
	派遣日	令和5年8月31日(木)9:30~11:30
	開催場所	指宿市役所(指宿市)
	参加者	市職員3名
	派遣講師	日高 一富 (専門分野:自然)
	団体からの依頼事項	指宿港湾緑地を整備するにあたり、緑化樹木の選定等について助言を得たい。
	アドバイザーからの助 言内容	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の方が使いやすい木陰の作り方について ・植栽の維持管理について ・植栽のレイアウトについて ・樹種の特徴や適合性について ・緑地の活用法について 等の助言
助言の活用による成 果と今後の取組	<p>【活用後の成果】 機能的にも景観的にもバランスのとれた緑地設計ができ、住民向けワークショップにおいても理解を得られた。</p> <p>【今後の取り組み】 市民や観光客で賑わう指宿港海岸を日指し、景観にも配慮した整備を今後も行っていきたい。</p>	

令和5年度の派遣実績(詳細版)

団体名	指宿市自治公民館連絡協議会	
団体のこれまでの 景観への取り組み	植栽や施設整備等の地域づくりに取り組んでいる。	
派遣内容	回数	1回目
	会議名	川尻区議会・集落長会
	派遣日	令和5年10月20日(金)10:00～12:00
	開催場所	川尻ふれあい交流館(指宿市)※川尻地区を巡回
	参加者	川尻区区議, 集落長など14名
	派遣講師	東川 隆太郎 (専門分野:地域づくり)
	団体からの依頼事項	川尻区の視察を通して, 新たな地域資源の価値づけと地元の特性を活かした景観づくりについて助言を得たい。
	アドバイザーからの助 言内容	火の神神社等, 川尻地区を巡回し, 歴史的背景を踏まえながら, 良い面や改善点について説明を行い, コース設定の仕方や, まち歩きの目的設定などについて助言。
助言の活用による成 果と今後の取組	<p>【活用後の成果】 市の補助金を活用し, 火の神神社と他5社分の案内看板を令和7年3月末までに設置する予定となっている。</p> <p>【今後の取り組み】 今後も引き続き, 植栽や施設整備等に取り組む, 観光客や移住者の誘致など地域づくりに努めていきたい。</p>	

令和5年度の派遣実績(詳細版)

団体名	特定非営利活動法人TAMASU	
団体のこれまでの 景観への取り組み	集落づくりについてのワークショップや景観形成のセミナーを開催。 フクギ並木の苗作り, 植樹, 維持管理, 清掃活動。 イルミネーションイベント「フクギナイト」を開催。	
派遣内容	回数	1回目
	会議名	景観講演会「樹の声を聴く。」
	派遣日	令和5年11月21日(火)14:30~16:30
	開催場所	国直集落及び国直公民館(大和村)
	参加者	集落内外の住民24名
	派遣講師	日高 一富 (専門分野: 自然)
	団体からの依頼事項	<ul style="list-style-type: none"> ・フクギの防除・維持管理方法の指導助言について ・苗作り, 植樹方法の指導助言について
	アドバイザーからの助 言内容	<ul style="list-style-type: none"> ・集落内の環境やフクギの生育状況について現地調査を行い, フクギの枯死の原因・対策について助言 ・フクギの価値, 観光への活用について
助言の活用による成 果と今後の取組	<p>【活用後の成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・フクギのある景観を地域資源であることに気づいた。 ・伐採や強剪定を行わないように周知・啓発を行った。 ・フクギ並木を清掃する住民が増えた。 ・フクギ並木がフォトスポットとなり観光客が増えた。 <p>【今後の取り組み】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域住民が将来にわたりフクギを保全できるように合意形成し, 100年後もキョラジマ(美しい集落)であるように適切な維持管理に取り組む。 ・フクギ並木は観光地であるとともに住民生活のエリアでもある。ローカルルールを運用するなど, 将来にわたり持続可能な地域をつくりに取り組む。 	